

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 専攻共通)

(科目名:日本語)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

第 1 問

以下は、明治時代以降の日本における漢字廃止運動の歴史を論じた文章の一節である。これを読んで、続く問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(安田敏朗『漢字廃止の思想史』平凡社、2016年)

問 1

下線部①から⑤までの漢字の読みを書きなさい。送り仮名は不要です。(5×3点)

- ① 自 ②万別 ③恫喝 ④言説 ⑤懸命

問 2

下線部⑦から⑩までのカタカナを漢字に直しなさい。(5×3点)

- ⑦シンセイ ⑧フキンコウ ⑨ホウケン ⑩ショキ ⑪フキユウ

問 3

二重下線部「『日本語の歴史』とは、『漢字を使い続けてきた歴史』だとのっぺりといわれてしまう」とありますが、どういう点を指して「のっぺり」と表現しているのか、説明しなさい。(20点)

問 4

波線部「こうした構造」とはどのような構造を指しているのか、説明しなさい。(20点)

2025年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 専攻共通)

(科目名:日本語)

2025年2月22日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

第2問

以下に掲げる表(出典は谷本菜穂「美容の文化社会学——整形を中心に」、『岩波講座社会学第12巻、「文化・メディア」』所収)は、表1、2が「親族・友人などのうち、だれが自分の外見に影響を与えるアドバイスや発言をしたか」について、「美容整形を希望する人・しない人」(表1)、「美容整形の経験がある人・ない人」(表2)に分けて割合を示したものであり、表3、4、5が「外見を他人にほめられる頻度」を、「美容整形を希望する人・しない人」(表3)、「美容整形外科手術の経験がある人・ない人」(表4)、「外科手術なしの美容医療の経験がある人・ない人」(表5)に分けて度数と割合を示したものである。これらの表から読みとれることをまとめなさい。ただしこの問いは、美容整形についての個人的な好悪や、倫理的評価を問うものではない。(30点)

【引用部分は削除しています】